



市長からの手紙



ひまわり
拝啓 向日葵がまぶしく咲き誇る季節になりましたが、皆さまお変わりないでしょうか。

さて、本市では、子どもたちの夏の思い出づくりと新たな体験の機会として、7月18日から手持ち花火ができる公園の実証実験を行っています。(8月31日まで)公園内での火気使用には制限がありますが、「近所の公園で、家族と花火が楽しめたら…」というお声を形にするため、皆さまの身近な公園を一部開放することといたしました。歩いて行ける公園が、もっと皆さまの生活に寄り添い、笑顔あふれる場所となることを願っています。

利用方法など詳細は市ホームページをご覧ください。



ところで、朝霞市役所花の池テラスで開催している「あさか朝市」をご存じですか。パンやお菓子、コーヒーなどの軽食、野菜、日用雑貨、子どもも楽しめる工作のワークショップなど、10店舗ほどが出店しています。ゆったりとした雰囲気の中で、新たなモノ・コト、そして人に出会える、月に1度の

朝市にぜひお出かけください。今月は8月9日に開催します。詳細は25ページをご覧ください。

最後になりますが、令和8年7月1日現在、市内には249の分譲マンションがあります。本市では令和6年2月に、管理組合がマンション管理計画認定制度を適正に運用し、長寿命化促進税制や金利等の優遇措置を受けることができるよう「朝霞市マンション管理適正化推進計画」を策定し、現在は9つのマンションを認定しています。9月2日には分譲マンション管理相談を実施しますので、管理組合に関するお困りごとなど、ぜひご相談ください。詳細は26ページをご覧ください。

暑い日がまだまだ続きますが、身体の声に耳を傾け、くれぐれもご自愛ください。またお便りします。 敬具



朝霞市長 松下 昌代

ペットと防災について考えてみませんか？



問／環境推進課 ☎463-1504

ペットと一緒に避難を	飼い主は災害時、ペットと一緒に避難所へ避難すること(=同行避難)が基本です。 ●原則、ペットは屋外の専用スペースに避難します。 ●雨天時等は屋内の専用スペースを利用できますが、飼育ケージ・キャリーなどに入っている小型の動物であることが条件です。 ※避難所にペット用備品はありません。飼い主が備品を用意し、世話をしましょう。
なぜ「ペットも避難」なの？	東日本大震災では、家に残されたペット救出等に多大な時間と労力が必要となりました。また、ペットが理由で避難しないことは、飼い主自身にも危険が及びます。災害時、ペットと安全に避難するためにも、日頃からの心構えと備えをしましょう。
日頃からしつけをしよう！	避難所の限られたスペースで、飼い主・ペット・他の避難者のストレスを減らすために、日頃のしつけや準備が必要です。飼い主は、大切なペットが嫌われないためにもマナーを守りましょう。 ●決められた場所で排せつさせる ●鑑札・迷子札・マイクロチップを装着する ●ケージに慣れさせる ●ムダ吠えをさせない ●各種ワクチンの接種や寄生虫の予防・駆除
避難方法の検討を！	ペットが慣れている、親族宅や知人宅などに避難できないか選択肢を検討してみましょう。ペットや飼い主にとって、過密な状態の避難所を避けられるなど、メリットがあります。

ひとの推移

世帯数 72,818世帯 (+56世帯)
令和8年7月1日現在 () 内は前月比
《 》 内は外国人

人口 146,917人 (+17人) 《5,698人》
男 73,795人 (+3人) 《3,017人》
女 73,122人 (+14人) 《2,681人》